

令和4年度一般会計補正予算説明資料

6 款 農林水産業費
 1 項 農業費
 1 目 農業総務費

生産振興課（内線：7281）
 （単位：千円）

事業名	補正前	補正	計	財源内訳				備考
				国庫支出金	起債	その他	一般財源	
とっとり花回廊施設管理費	127,869	△12,992	114,877		<△6,000> △12,000		△992	県費負担 △6,992
トータルコスト	131,023	△12,992	118,031	(補正に係る主な業務内容)				
従事する職員数	0.4人	0.0人	0.4人	—				
工程表の政策内容	—							
事業内容の説明								
<p>1 事業の目的、概要</p> <p>とっとり花回廊の施設管理に必要な備品の購入、施設の修繕及び調査等を行う。</p> <p>2 主な事業内容</p> <p>入札残による減額補正である。</p>								

(注) 起債欄の< >書きは交付税措置額を除いた額である。
 県費負担額は、起債欄の< >書きの金額に一般財源の金額を加算した額である。

令和4年度一般会計補正予算説明資料

6 款 農林水産業費

1 項 農業費

6 目 農作物対策費

生産振興課（内線：3820）

（単位：千円）

事業名	補正前	補正	計	財源内訳				備考
				国庫支出金	起債	その他	一般財源	
鳥獣被害総合対策事業	284,619	△54,668	229,951	△37,883			△16,785	
トータルコスト	336,356	△54,668	281,688	(補正に係る主な業務内容)				
従事する職員数	7.2人	0.0人	7.2人	補助金交付事務				
工程表の政策内容	—							

事業内容の説明

1 事業の目的、概要

野生鳥獣による農林業等への被害を減少させるため、有害鳥獣捕獲や侵入防止柵の設置等を支援する。

2 主な事業内容

国交付金の認証減、イノシン捕獲頭数の減、侵入防止柵の入札残等による減額補正である。

（単位：千円）

区分	補正前	補正	計	財源内訳		
				国費	その他	一般
鳥獣被害防止総合対策交付金（国庫事業）	193,807	△37,804	156,003	△37,804	0	0
鳥獣被害総合対策事業費補助金（単県事業）	88,536	△16,785	71,751	0	0	△16,785
県推進事業（国庫・単県）	2,276	△79	2,197	△79	0	0
計	284,619	△54,668	229,951	△37,883	0	△16,785

令和4年度一般会計補正予算説明資料

6 款 農林水産業費
 1 項 農業費
 6 目 農作物対策費

生産振興課（内線：7283）
 （単位：千円）

事業名	補正前	補正	計	財源内訳				備考
				国庫支出金	起債	その他	一般財源	
経営所得安定対策等推進事業	108,000	△9,343	98,657	△9,343				
トータルコスト	119,040	△9,343	109,697	(補正に係る主な業務内容)				
従事する職員数	1.4人	0.0人	1.4人	—				
工程表の政策内容	—							
事業内容の説明								
1 事業の目的、概要 各地域が主体的に取り組む米の需給調整及び水田フル活用(水田を活用した作物の産地化等)を円滑に進めるため、県段階、地域段階の農業再生協議会が行う事業推進の取組等に要する経費を助成する。								
2 主な事業内容 国交付金の認証減による減額補正である。								
新たな水田農業の収益性向上対策支援事業	26,900	△8,980	17,920	△5,795			△3,185	
トータルコスト	33,209	△8,980	24,229	(補正に係る主な業務内容)				
従事する職員数	0.8人	0.0人	0.8人	—				
工程表の政策内容	—							
事業内容の説明								
1 事業の目的、概要 コロナ禍の影響等による令和3年産主食用米の需給緩和を受け、今後もさらに米消費が減少していくことが見込まれることから、主食用米以外の農産物の生産拡大を推進し、新たな水田農業の収益性向上を図るため、地域や担い手の飼料用米等の生産拡大に向けた取組を支援する。								
2 主な事業内容 当初予定事業の中止や規模縮小等による減額補正である。								

令和4年度一般会計補正予算説明資料

6 款 農林水産業費

1 項 農業費

6 目 農作物対策費

生産振興課（内線：7414）

（単位：千円）

事業名	補正前	補正	計	財源内訳				備考
				国庫支出金	起債	その他	一般財源	
鳥取梨生産振興事業	113,082	△7,933	105,149	△7,933				
トータルコスト	140,683	△7,933	132,750	(補正に係る主な業務内容)				
従事する職員数	3.5人	0.0人	3.5人	—				
工程表の政策内容	梨新品種の導入推進							
事業内容の説明				【「新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金」充当事業】				
1 事業の目的、概要								
<p>本県梨の主力品種である「二十世紀」、「新甘泉」等の生産拡大を図るため、省力化栽培技術対策、防災・減災対策、出荷・価格安定対策等を総合的に支援する。</p>								
2 主な事業内容								
<p>当初予定事業の中止や入札残等による減額補正である。</p>								
鳥取柿ぶどう等生産振興事業	28,452	△3,200	25,252	△3,200				
トータルコスト	40,281	△3,200	37,081	(補正に係る主な業務内容)				
従事する職員数	1.5人	0.0人	1.5人	—				
工程表の政策内容	—							
事業内容の説明				【「新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金」充当事業】				
1 事業の目的、概要								
<p>柿「輝太郎」をはじめとした柿ぶどう等の生産拡大を推進するとともに、気象災害に備えた施設整備や機械の共同利用など、攻めの対策を強化し、次世代につながる果樹の生産振興を図る。</p>								
2 主な事業内容								
<p>当初予定事業の規模縮小や入札残等による減額補正である。</p>								

令和4年度一般会計補正予算説明資料

6 款 農林水産業費

1 項 農業費

6 目 農作物対策費

生産振興課（内線：7414）

（単位：千円）

事業名	補正前	補正	計	財源内訳				備考
				国庫支出金	起債	その他	一般財源	
戦略的スーパー園芸団地整備事業	42,297	△2,000	40,297	△2,000				
トータルコスト	47,029	△2,000	45,029	（補正に係る主な業務内容）				
従事する職員数	0.6人	0.0人	0.6人	—				
工程表の政策内容	梨新品種の導入推進							
事業内容の説明				【「新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金」充当事業】				
<p>1 事業の目的、概要</p> <p>J A等が主体となり、梨（新甘泉）など高収益品目の園芸団地を戦略的に整備して、産地活性化の拠点とする。特に、新規就農者や定年退職者等の多様な担い手の参入を促すために、低コストな施設整備や早期成園化及び効果的な募集・PRを一体的に行う取組に対して支援する。</p> <p>2 主な事業内容</p> <p>当初予定事業の国事業への振替や入札残等による減額補正である。</p>								
戦略的園芸品目（イチゴ「とっておき」）総合対策事業	14,294	△11,000	3,294	△11,000				
トータルコスト	15,871	△11,000	4,871	（補正に係る主な業務内容）				
従事する職員数	0.2人	0.0人	0.2人	—				
工程表の政策内容	—							
事業内容の説明				【「新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金」充当事業】				
<p>1 事業の目的、概要</p> <p>県育成のオリジナルイチゴ新品種「とっておき」の生産拡大を図るため、生産者等のネットワークづくり、単収・品質の向上、販売促進及び生産基盤強化に必要な機械、施設等の整備を総合的に支援することにより、県内全域での産地づくりを図る。</p> <p>2 主な事業内容</p> <p>当初予定事業の中止や規模縮小等に伴う減額補正である。</p>								

令和4年度一般会計補正予算説明資料

6 款 農林水産業費
1 項 農業費
6 目 農作物対策費

生産振興課（内線：7272）
（単位：千円）

事業名	補正前	補正	計	財源内訳				備考
				国庫支出金	起債	その他	一般財源	
ブロッコリー産地の広域化・生産強化総合対策事業	57,805	△19,213	38,592	△10,889		＜雑入＞ △8,324		
トータルコスト	59,382	△19,213	40,169	(補正に係る主な業務内容)				
従事する職員数	0.2人	0.0人	0.2人	—				
工程表の政策内容	—							
事業内容の説明				【「新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金」充当事業】 【財源内訳「その他」の内訳】雑入（公益財団法人日本特産農産物協会からの助成金）：△8,324				
1 事業の目的、概要								
県内初のブロッコリー広域共同選果場「野菜広域センター」の拠点整備を契機に、県中西部のブロッコリー産地の強化を図るため、野菜広域センター利用協議会の活動支援、省力化・効率化等に必要な機械導入、収量向上・品質安定のための基盤整備や輪作体系の確立などの取組を総合的に支援する。								
2 主な事業内容								
当初予定事業の中止や規模縮小等による減額補正である。								
園芸産地活力増進事業	43,648	△2,000	41,648	△2,000				
トータルコスト	61,786	△2,000	59,786	(補正に係る主な業務内容)				
従事する職員数	2.3人	0.0人	2.3人	—				
工程表の政策内容	—							
事業内容の説明				【「新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金」充当事業】				
1 事業の目的、概要								
県の主要品目であるスイカ、白ネギ、ラッキョウ、地域特産品目であるアスパラガス、葉物野菜等、多様な園芸品目を対象に、高品質な農産物の安定生産に必要な機械・施設導入や新技術のモデル実証等を支援し、強い園芸産地の形成を目指す。								
2 主な事業内容								
当初予定事業の中止や規模縮小等に伴う減額補正である。								

令和4年度一般会計補正予算説明資料

6 款 農林水産業費

1 項 農業費

6 目 農作物対策費

生産振興課（内線：7272）

（単位：千円）

事業名	補正前	補正	計	財源内訳				備考
				国庫支出金	起債	その他	一般財源	
野菜価格安定対策事業	30,252	△16,105	14,147				△16,105	
トータルコスト	38,927	△16,105	22,822	(補正に係る主な業務内容)				
従事する職員数	1.1人	0.0人	1.1人	—				
工程表の政策内容	—							
事業内容の説明								
1 事業の目的、概要								
野菜価格が著しく低落した場合に、生産者の経営に及ぼす影響を緩和するため、生産者に対し価格差補給金を交付するための資金造成を支援する。								
2 主な事業内容								
対象品目の野菜価格が保証基準額まで下がらず、価格差補給金を交付しなかったことに伴う減額補正である。								
環境に配慮した持続可能な農業総合対策事業	12,291	△4,541	7,750	△3,910			△631	
トータルコスト	59,607	△4,541	55,066	(補正に係る主な業務内容)				
従事する職員数	6.0人	0.0人	6.0人	—				
工程表の政策内容	—							
事業内容の説明								
1 事業の目的、概要								
環境に配慮した農業を推進するため、化学農薬や化学肥料の低減、農業用プラスチック排出量の削減等環境負荷の低減に向けた生産技術の開発及び有機農産物の販路拡大支援等を総合的に実施することにより、作業省力化、コスト低減及び有機農産物等の販売促進を図る。								
2 主な事業内容								
当初予定事業の中止や規模縮小等による減額補正である。								

令和4年度一般会計補正予算説明資料

6 款 農林水産業費
 1 項 農業費
 6 目 農作物対策費

生産振興課（内線：7415）
 （単位：千円）

事業名	補正前	補正	計	財源内訳				備考
				国庫支出金	起債	その他	一般財源	
有機・特別栽培農産物・GAP等総合支援事業	4,735	△1,455	3,280	△980		〈財産収入等〉 △175	△300	
トータルコスト	54,417	△1,455	52,962	(補正に係る主な業務内容)				
従事する職員数	6.3人	0.0人	6.3人	—				
工程表の政策内容	—							

事業内容の説明 【財源内訳「その他」の内訳】 財産収入：△155、雑入(講習会資料代)：△20

1 事業の目的、概要

「環境にやさしい農業」の推進の一環として、有機・特別栽培農産物の普及推進及び農業における食品安全・労働安全・環境保全を確保するためのGAP（農業生産工程管理）の取組を一体的に支援する。

2 主な事業内容

当初予定事業の中止や規模縮小等による減額補正である。

令和4年度一般会計補正予算説明資料

6 款 農林水産業費

1 項 農業費

6 目 農作物対策費

生産振興課（内線：7272）

（単位：千円）

事業名	補正前	補正	計	財源内訳				備考
				国庫支出金	起債	その他	一般財源	
(新) 雪害園芸施設等復旧対策事業	0	100,000	100,000				100,000	
トータルコスト	0	100,789	100,789	(補正に係る主な業務内容)				
従事する職員数	0.0人	0.1人	0.1人	補助金事務				
工程表の政策内容	—							

事業内容の説明

1 事業の目的、概要

今冬の大雪により被害を受けた農林業者が、再生産に向けて復旧等を行う場合の経費を支援する。

2 主な事業内容

(1) 園芸施設等復旧対策事業

内容（事業対象）	事業主体	補助率	補正額
施設園芸・特用林産物ハウス、果樹棚、果樹樹体、畜舎、共同利用施設等 ※農業共済制度がある施設は共済受領（相当額）を差し引いた額を補助対象経費とする	農林業者、農業法人、生産組織、JA等	県1/3	97,500千円

（参考：補助対象経費）

施設等区分	内 容
パイプハウス	施設園芸・特用林産物ハウスの撤去復旧
果樹園	棚の復旧、施設撤去
果樹樹体	苗の植栽、改植時の土壌改良
畜舎・堆肥舎等	家畜避難経費（輸送費・施設利用料）、被害施設撤去、牛舎・豚舎・鶏舎等の撤去、復旧

(2) 雪害農産物販売促進対策事業

内容	事業主体	補助率	事業費	補正額
被害を受けた白ネギ等農産物の販売促進活動の経費支援	JA、全農とっとり、農業法人等	県1/2	5,000千円	2,500千円

3 雪害の状況

- 令和5年1月24日からの大雪により、パイプハウス（水稻育苗・切り花栽培ほか、33棟）・畜舎（4件）等の施設に全壊、破損等の被害が発生しており、2月以降の大雪等の気象変化へ迅速な対応を検討する。（令和5年1月30日現在）
- 各JA、生産部は白ネギ、ブロッコリーなど露地野菜について葉折れなど品質低下を懸念している。
※緊急を要する施設復旧については、別途、災害復興調整費を活用し、パイプハウスの再建や畜舎の修繕など早急な復旧を支援する。

令和4年度一般会計補正予算説明資料

6 款 農林水産業費
 1 項 農業費
 7 目 肥料植物防疫費

生産振興課（内線：7415）
 （単位：千円）

事業名	補正前	補正	計	財源内訳				備考
				国庫支出金	起債	その他	一般財源	
植物防疫総合対策事業	13,332	△4,970	8,362	△4,970				
トータルコスト	48,289	△4,970	43,319	(補正に係る主な業務内容)				
従事する職員数	5.2人	0.0人	5.2人	—				
工程表の政策内容	—							
事業内容の説明								
<p>1 事業の目的、概要</p> <p>病虫害防除所が精度の高い病虫害発生予察調査の実施や生産者、JA等へ情報提供を行うことにより、生産者への適切な防除対策を周知・徹底する。 また、近年、県中部で稲作被害が拡大しているスクミリンゴガイ（ジャンボタニシ）の防除対策の実証等を支援する。</p> <p>2 主な事業内容</p> <p>スクミリンゴガイ（ジャンボタニシ）の防除対策等の実証面積の減等による減額補正である。</p>								

令和4年度一般会計補正予算説明資料

6 款 農林水産業費

1 項 農業費

10 目 園芸試験場費

園芸試験場（電話：0858-37-4211）

（単位：千円）

事業名	補正前	補正	計	財源内訳				備考
				国庫支出金	起債	その他	一般財源	
園芸試験場管理運営費	57,493	△4,001	53,492				△4,001	
トータルコスト	98,978	△4,001	94,977	(補正に係る主な業務内容)				
従事する職員数	5.9人	0.0人	5.9人	—				
工程表の政策内容	—							
事業内容の説明								
<p>1 事業の目的、概要</p> <p>園芸試験場の管理運営に要する経費である。</p> <p>2 主な事業内容</p> <p>園芸試験場の維持管理等に係る委託料及び工事請負費等の執行残に伴う減額補正である。</p>								

令和4年度一般会計補正予算説明資料

6款 農林水産業費

3項 農地費

農地・水保全課(内線:7326)

1目 農地総務費

(単位:千円)

事業名	補正前	補正	計	財源内訳				備考
				国庫支出金	起債	その他	一般財源	
土地改良区支援等事業	15,929	2,000	17,929	2,000				
トータルコスト	57,698	2,789	60,487	(補正に係る主な業務内容)				
従事する職員数	6.0人	0.1人	6.1人	補助金事務、相談等				
工程表の政策内容	-							

事業内容の説明

1 事業の目的、概要

土地改良区及び土地改良施設の適切な運営・維持管理等を支援するため、運営費及び地元負担金の軽減を図るための借入利子に対する助成を行うとともに、土地改良施設の機能の維持と耐用年数の延長を図るため、土地改良区等が定期的実施する整備補修に対して支援する。

2 主な事業内容

国補正を活用して、土地改良区等が管理する農業水利施設にかかる電力料等エネルギー価格高騰に対する支援を行う。

(単位:千円)

事業区分		補正前	補正	計
土地改良区基	水土保全強化対策事業	7,347	0	7,347
盤強化事業	土地改良区等運営指導事業	100	0	100
土地改良負担金償還平準化事業		262	0	262
土地改良施設維持管理適正化事業		8,220	0	8,220
(新) 農業水利施設省エネルギー化推進対策事業		0	2,000	2,000
合計		15,929	2,000	17,929

3 事業目標・取組状況・改善点

(1) 事業目標

土地改良区及び土地改良施設の運営・維持管理等が適切に実施されるよう支援する。

(2) 取組状況・改善点

平成24年度から不祥事の未然防止を目的とした土地改良区役職員向けの研修会を県と鳥取県土地改良事業団体連合会との共催で実施するほか、平成25年度から、会計知識を有する検査員(会計年度任用職員)1名を県に、会計相談・監査指導業務を行う指導員1名を県土連にそれぞれ配置し、土地改良区に対する指導体制を強化した。

加入する土地改良区は、定期的な土地改良施設の整備補修を行っており、令和3年度においては4土地改良区で整備補修を実施している。

令和4年度一般会計補正予算説明資料

6 款 農林水産業費
 3 項 農地費
 1 目 農地総務費

農地・水保全課（内線：7334）
 （単位：千円）

事業名	補正前	補正	計	財源内訳				備考
				国庫支出金	起債	その他	一般財源	
多面的機能支払交付金事業	858,098	△52,253	805,845	△35,557			△16,696	
トータルコスト	890,715	△52,253	838,462	（補正に係る主な業務内容）				
従事する職員数	4.2人	0.0人	4.2人					
工程表の政策内容	農地・水・農村環境を保全する活動を支援							

事業内容の説明

1 事業の目的、概要

農業・農村が有する国土保全や水源かん養、景観形成等といった多面的機能の維持・発揮のための地域活動に対して支援する。

2 主な事業内容

国認証減等に伴う減額補正を行う。

（単位：千円）

事業区分	補正前	補正	計	補正財源内訳	
				国庫	一般財源
(1) 農地維持支払 (2) 資源向上支払	833,910	△49,970	783,940	△33,314	△16,656
(3) 推進交付金	24,148	△2,243	21,905	△2,243	0
市町村等	23,848	△2,243	21,605	△2,243	0
県	300	0	300	-	-
(4) 広域化支援	40	△40	0	0	△40
合計	858,098	△52,253	805,845	△35,557	△16,696

令和4年度一般会計補正予算説明資料

6 款 農林水産業費
 3 項 農地費
 1 目 農地総務費

農地・水保全課（内線：7336）
 （単位：千円）

事業名	補正前	補正	計	財源内訳				備考
				国庫支出金	起債	その他	一般財源	
農地を守る直接支払事業	853,223	△8,455	844,768	△6,833			△1,622	
トータルコスト	873,222	△8,455	864,767	(補正に係る主な業務内容)				
従事する職員数	2.6人	0.0人	2.6人	—				
工程表の政策内容	—							

事業内容の説明

1 事業の目的、概要

平地と比べ農業の生産条件が不利な中山間地域等において、農業生産条件の不利を補正するため、協定に基づいて農業生産活動を行う農業者等に対し、耕作面積に応じて助成する。

2 主な事業内容

市町からの申請減（当初計画に対する申請面積の減によるもの）に伴う減額補正を行う。

（単位：千円）

事業区分	補正前	補正	計	補正財源内訳	
				国庫	一般財源
直接支払交付金	843,180	△4,098	839,082	△2,476	△1,622
直接支払推進交付金	10,043	△4,357	5,686	△4,357	0
合計	853,223	△8,455	844,768	△6,833	△1,622

令和4年度一般会計補正予算説明資料

6款 農林水産業費

3項 農地費

農地・水保全課(内線:7326)

1目 農地総務費

(単位:千円)

事業名	補正前	補正	計	財源内訳				備考
				国庫支出金	起債	その他	一般財源	
しっかり守る農林 基盤交付金	210,000	△19,000	191,000				△19,000	
トータルコスト	226,561	△19,000	207,561	(補正に係る主な業務内容)				
従事する職員数	2.1人	0.0人	2.1人	-				
工程表の政策内容	-							
事業内容の説明								
<p>1 事業の目的、概要</p> <p>農地、水路、農林道など農林業生産基盤の小規模な整備・補修等に要する経費を市町村に交付する。 また、近年多発する豪雨災害等に迅速に対応するため、農地・農業用施設の小規模な災害復旧に要する経費を市町村に交付する。</p> <p>2 主な事業内容</p> <p>事業実施内容の精査により国庫補助事業の活用が可能となったため、本事業での実施をとりやめたことによる減額補正を行う。</p>								

令和4年度一般会計補正予算説明資料

6 款 農林水産業費

3 項 農 地 費

農地・水保全課（内線：7326）

2 目 土地改良費

（単位：千円）

事業名	補正前	補正	計	財 源 内 訳				備 考
				国庫支出金	起債	その他	一般財源	
(公共事業) 農業農村整備事業	1,609,620	△28,407	1,581,213	△24,085	<△500> △1,000	(負担金等) △555	△2,767	県費負担 △3,267
トータルコスト	1,611,198	△28,407	1,582,791	(補正に係る主な業務内容) 事業に係る審査、実施内容の審査、県営工事の執行、補助金事務、国との調整				
従事する職員数	16.1人	0.0人	16.1人					

工程表の政策内容 畑地かんがい施設整備の支援

事業内容の説明 【財源内訳「その他」の内訳】 分担金及び負担金：△76、雑入：△479

1 事業の目的・概要

農業の競争力強化のための農地の区画拡大や汎用化、国土強靱化のための農業水利施設の長寿命化対策等を実施する。

2 主な事業内容

（単位：千円）

事業名		補正前	補正	計	補正理由
補助事業	県営 農地集積加速化農地整備事業	410,692	△756	409,936	事業費確定に伴う減額
	小計	410,692	△756	409,936	
団体営	農業体質強化基盤整備促進支援事業	167,315	△16,504	150,811	事業費確定に伴う減額
	団体営水利施設等保全高度化事業	139,252	△11,147	128,105	事業費確定に伴う減額
	小計	306,567	△27,651	278,916	
補助事業 計		717,259	△28,407	688,852	
補正に係るもの 計		717,259	△28,407	688,852	

（着工地区の概要：別紙のとおり）

（注）起債欄の上段<>書きは交付税措置を除いた額である。

備考欄の県費負担は起債欄の<>書きの金額と一般財源の金額を加算したものである。

令和4年度一般会計補正予算説明資料

6 款 農林水産業費
 2 項 畜産業費
 2 目 畜産振興費

畜産課（内線：7290）
 （単位：千円）

事業名	補正前	補正	計	財源内訳				備考
				国庫支出金	起債	その他	一般財源	
鳥取県和牛振興計画推進事業	158,204	△18,088	140,116			〈基金繰入金〉 △18,088		
トータルコスト	172,399	△18,088	154,311	(補正に係る主な業務内容)				
従事する職員数	1.8人	0.0人	1.8人	-				
工程表の政策内容	子牛生産頭数・肉牛出荷頭数の増加と「鳥取和牛」の高価格販売によるブランド力アップ							
事業内容の説明								
1 事業の目的、概要								
令和2年10月に制定した鳥取県産和牛の保護及び振興に関する条例に基づき、令和3年4月に策定した和牛振興計画の実現に向けて事業を実施し、県産和牛の遺伝資源保護や県産和牛の産業振興を図る。								
2 主な事業内容								
繁殖雌牛増頭加速化事業について今後増額する見込がないことによる減額である。								

令和4年度一般会計補正予算説明資料

6款 農林水産業費
4項 林業費
1目 林業総務費

林政企画課（内線：7301）
（単位：千円）

事業名	補正前	補正	計	財源内訳				備考
				国庫支出金	起債	その他	一般財源	
森林計画樹立事業	26,043	△14,942	11,101				△14,942	
トータルコスト	46,456	△14,942	31,514	(補正に係る主な業務内容)				
従事する職員数	3.1人	0.0人	3.1人	—				
工程表の政策内容	—							

事業内容の説明

1 事業の目的、概要

森林法に定める地域森林計画を樹立するための森林の現況調査、森林審議会の開催等を行う。
また、施業情報等の森林情報を市町村や林業事業体と共有するための森林クラウドシステムの保守管理を行う。

2 主な事業内容

入札残による減額補正である。

(単位：千円)

区分	補正前	補正	計
森林計画編成等事業	20,734	△13,705	7,029
森林審議会開催	359	—	359
森林クラウドシステム保守管理事業	4,950	△1,237	3,713
合計	26,043	△14,942	11,101

林政企画課（内線：7301）
（単位：千円）

2目 林業振興費

事業名	補正前	補正	計	財源内訳				備考
				国庫支出金	起債	その他	一般財源	
鳥取県版緑の雇用支援事業	53,370	△8,710	44,660				△8,710	
トータルコスト	59,679	△8,710	50,969	(補正に係る主な業務内容)				
従事する職員数	0.8人	0.0人	0.8人	—				
工程表の政策内容	—							

事業内容の説明

1 事業の目的、概要

新規就労者の確保・定着に向けた情報発信・就労相談会等の開催や、林業事業体が行う新規就労者に対するOJT研修を支援することで、事業体の中核となる林業担い手の確保・育成を図り、森林・林業の安定的な発展につなげる。

2 主な事業内容

研修の中止により、研修生が減少したことによる減額補正である。

(単位：千円)

区分	補正前	補正	計
未来を担う林業人材育成研修	45,144	△8,710	36,434

令和4年度一般会計補正予算説明資料

6款 農林水産業費
4項 林業費
2目 林業振興費

林政企画課（内線：7300）
（単位：千円）

事業名	補正前	補正	計	財源内訳				備考
				国庫支出金	起債	その他	一般財源	
森林整備担い 手育成総合対 策事業	45,372	△2,148	43,224				△2,148	
トータルコスト	59,851	△2,148	57,703	(補正に係る主な業務内容)				
従事する職員数	1.9人	0.0人	1.9人	—				
工程表の政策内容	—							
事業内容の説明								
1 事業の目的、概要								
林業労働者の技術・技能向上、労働安全衛生環境の整備、福利厚生の実施等により魅力ある職場環境づくりを推進し、森林整備の担い手の確保・育成を図る。								
2 主な事業内容								
新型コロナウイルス感染症の感染拡大に伴い、素材生産力向上のための作業改善研修の一部を実施しなかったことによる減額補正である。								
林業現場の働 き方改革推進 事業	900	△862	38				△862	
トータルコスト	3,266	△862	2,404	(補正に係る主な業務内容)				
従事する職員数	0.3人	0.0人	0.3人	—				
工程表の政策内容	—							
事業内容の説明								
1 事業の目的、概要								
林業現場は若返りが進んでおり、若手林業従事者の新規参入をさらに促進し定着を図っていくためには、働き手の能力を十分に発揮できる能力開発、人材育成、職場環境の改善等の「働き方改革」が重要である。このため、働き方改革の啓発セミナーの開催、働き手がやりがいを感じることでできる職場づくりのための専門家派遣を通じて、林業現場の「働き方改革」を推進する。								
2 主な事業内容								
新型コロナウイルス感染症の感染拡大に伴う一部事業未実施による減額補正である。								
(単位：千円)								
区分	補正前	補正	計					
働き方改革セミナーの開催	300	△262	38					
林業コーディネーター派遣事業	600	△600	0					
合計	900	△862	38					

令和4年度一般会計補正予算説明資料

6款 農林水産業費
4項 林業費
2目 林業振興費

林政企画課（内線：7301）
（単位：千円）

事業名	補正前	補正	計	財源内訳				備考
				国庫支出金	起債	その他	一般財源	
スマート林業実践事業	88,954	△28,430	60,524	△30,095		<基金繰入金> 1,665		
トータルコスト	96,840	△28,430	68,410	(補正に係る主な業務内容)				
従事する職員数	1.0人	0.0人	1.0人	—				
工程表の政策内容	—							

事業内容の説明 【「デジタル田園都市国家構想推進交付金」及び「新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金」充当事業】

1 事業の目的、概要

航空レーザ計測等による森林情報のデジタル化を進めるとともに、スマート林業技術の現場への普及を進め、森林施業の効率化・低コスト化に繋げる。また、これまでデジタル化してきた森林情報等県の保有するビッグデータを活用し、林業が抱えている課題の解決に繋げる。

2 主な事業内容

国認証額の減額及び入札残による減額補正である。

(単位：千円)

区 分	補正前	補正	計	補正理由
次世代型林業イノベーション推進事業	1,335	—	1,335	—
森林情報デジタル化の推進	52,094	△26,130	25,964	国認証額の減額及び入札残
森林施業スマート化の推進	2,983	—	2,983	—
森林クラウドシステム推進事業	32,542	△2,300	30,242	入札残
合 計	88,954	△28,430	60,524	

新たな森林管理システム推進事業	20,500	△1,425	19,075		<基金繰入金等> △1,425	
トータルコスト	22,866	△1,425	21,441	(補正に係る主な業務内容)		
従事する職員数	0.3人	0.0人	0.3人	—		
工程表の政策内容	—					

事業内容の説明 【財源内訳「その他」の内訳】基金繰入金：△725、雑入（市町村負担分）：△700

1 事業の目的、概要

平成31年4月から施行された森林経営管理法に基づき、市町村が仲介役となり森林所有者と森林組合等の林業経営者をつなぐ新たな森林管理システムが開始されたが、当該システムは市町村が主体となり適正な経営管理を行うといった従来とは大きく異なるスキームとなっている。

そこで、新たな森林管理システム推進員及び新たな森林管理システム推進アドバイザーによる市町村支援を通じて、当該システムの円滑な運用を図る。

2 主な事業内容

委託事業の契約実績に伴う減額補正である。

(単位：千円)

区 分	補正前	補正	計
新たな森林管理システム推進モデル事業	16,800	△1,400	15,400
新たな森林管理システム推進アドバイザーの派遣等	3,600	△25	3,575
研修会の開催	100	—	100
合 計	20,500	△1,425	19,075

令和4年度一般会計補正予算説明資料

6 款 農林水産業費
 4 項 林業費
 2 目 林業振興費

林政企画課（内線：7299）
 （単位：千円）

事業名	補正前	補正	計	財源内訳				備考
				国庫支出金	起債	その他	一般財源	
林業成長産業化地域創出モデル事業	96,475	△24,390	72,085	△24,390				
トータルコスト	105,938	△24,390	81,548	(補正に係る主な業務内容)				
従事する職員数	1.2人	0.0人	1.2人	—				
工程表の政策内容	—							
事業内容の説明								
1 事業の目的、概要								
国に指定された「林業成長産業化地域」について、国の事業を活用しながら、地域の森林資源を循環利用し林業の成長産業化を推進する。								
2 主な事業内容								
国認証額の減額による減額補正である。								
(単位：千円)								
区分				補正前	補正	計		
森林整備・林業等振興推進（ソフト事業） 「千代川流域地域」				10,000	△3,750	6,250		
森林整備・林業等振興整備（ハード事業） 「千代川流域地域」				86,475	△20,640	65,835		
合 計				96,475	△24,390	72,085		
森林整備のための地域活動支援事業	9,135	△1,123	8,012				△1,123	
トータルコスト	24,907	△1,123	23,784	(補正に係る主な業務内容)				
従事する職員数	2.0人	0.0人	2.0人	—				
工程表の政策内容	—							
事業内容の説明								
1 事業の目的、概要								
間伐等の適切な森林管理を促進するため、国費を財源とする森林整備地域活動支援基金を活用し、森林所有者等が行う森林施業の集約化の促進に必要な地域活動に要する経費に対して支援する。								
2 主な事業内容								
森林整備のための地域活動支援交付金に係る実施要望の取下げに伴う減額補正である。								

令和4年度一般会計補正予算説明資料

6款 農林水産業費
4項 林業費
2目 林業振興費

林政企画課 (内線: 7301)
(単位: 千円)

事業名	補正前	補正	計	財源内訳				備考
				国庫支出金	起債	その他	一般財源	
とっとりデジタル田園都市推進事業(スマート林業実践事業)	34,472	△1,491	32,981	△1,491				
トータルコスト	35,261	△1,491	33,770	(補正に係る主な業務内容)				
従事する職員数	0.1人	0.0人	0.1人	—				
工程表の政策内容	—							
事業内容の説明								
1 事業の目的、概要								
林業事業体及び市町村に対してスマート林業技術等の導入及び保有する情報のデジタル化を支援し、それらを現場に実装することで、林業における生産性・安全性の向上と軽労化を図る。								
2 主な事業内容								
補助事業における交付差額及び事業の中止による減額補正である。								
(単位: 千円)								
	区分	補正前	補正	計	補正理由			
	森林施業スマート化の推進	34,197	△1,216	32,981	補助事業における交付差額			
	森林情報デジタル化の推進	275	△275	0	鳥取県森林クラウドシステムの情報セキュリティインシデント*の発生に伴い、システムが停止したことによる事業の中止			
	合計	34,472	△1,491	32,981				
※情報セキュリティインシデント: 不正アクセス等のセキュリティにおける事故								

林政企画課 (内線: 7301)
(単位: 千円)

5目 造林費

事業名	補正前	補正	計	財源内訳				備考
				国庫支出金	起債	その他	一般財源	
分収造林促進費	208,583	△11,453	197,130				△11,453	
トータルコスト	214,892	△11,453	203,439	(補正に係る主な業務内容)				
従事する職員数	0.8人	0.0人	0.8人	—				
工程表の政策内容	—							
事業内容の説明								
1 事業の目的、概要								
公益財団法人鳥取県造林公社が分収造林事業を実施するために必要な資金や、日本政策金融公庫からの既往借入の償還金を貸し付ける。併せて、同公庫借入利息の支払に必要な資金の助成等を行うとともに、県営林事業特別会計への繰出を行う。								
2 主な事業内容								
県営林事業特別会計の減額補正に伴う県営林特別会計への繰出金の減額及び造林公社補助金(公庫・約定償還金利子)の執行見込による減額補正である。								

令和4年度一般会計補正予算説明資料

6款 農林水産業費

4項 林業費

林業試験場(電話:0858-85-6221)

8目 林業試験場費

(単位:千円)

事業名	補正前	補正	計	財 源 内 訳				備 考
				国庫支出金	起債	その他	一般財源	
林業試験場管理運営等に関する経費	71,878	△11,584	60,294				△11,584	
トータルコスト	124,197	△11,584	112,613	(補正に係る主な業務内容)				
従事する職員数	9.0人	0人	9.0人	-				
工程表の政策内容	-							
<p>事業内容の説明</p> <p>1 事業の目的・概要 林業試験場及び鳥取県立二十一世紀の森(森林部分)の管理運営等に要する経費である。</p> <p>2 主な事業内容 屋上防水・外壁改修工事に係る委託料及び工事請負費の入札残に伴う減額補正である。</p>								